

医学生と教養

医療というアートを支える「見えない根」を育てる



診療と技能

職業人としての医師に必要な能力の
「目に見える」部分

プロフェッショナリズム

医療倫理、協調性、責任感、
誠実さ、謙虚さ、勤勉さ

利他の精神と教養

プロフェッショナリズムの基盤となる利他の精神。
そして、医師としての人格を継続的に磨き、
人間として成長するための「教養」

教養という根をどう育てるか



経験と出会いは環境に依存するが、「多読」は今この瞬間から自らの意志でコントロールできる最大の自己投資である。

転換点となる「言葉」との出会い

「ヒトが成長していくためには、
とにかく読書を多くすることが重要だ」

予備校講師による、読書の重要性を強く訴えるスピーチ

なぜ心に響いたのかはわからない。
しかし、講師の強い信念とスピーチ力が、
読書への意識を「心に固く刻み込んだ」。

好奇心と問題解決の「ビッグバン」



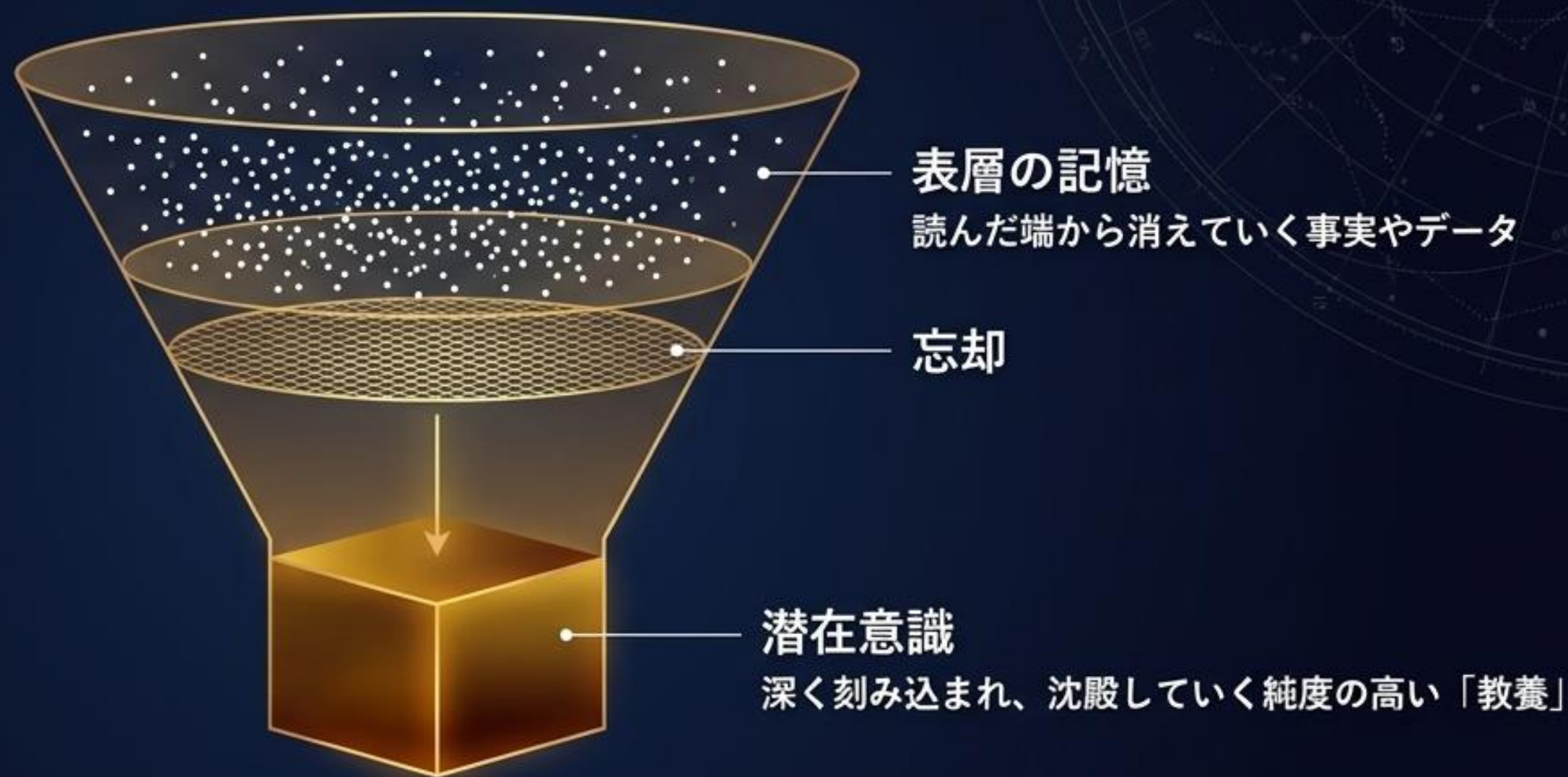
その時に遭遇した問題点の解決法探しや、
好奇心の赴くままに、全ジャンルを網羅する習慣の誕生。

読書の最大のパラドックス

実際は、読んだことは
次々と忘れていってしまいうように思える。

(しかし、それは決して無駄ではない)

忘却というフィルターと、潜在意識への沈殿



記憶としては消えても、**教養**というエッセンスとして**潜在意識**に深く刻み込まれる。

潜在意識のライブラリは、どこで光を放つのか？

「これまで多くの問題点と対峙してきたが、
教養として潜在意識に刻み込まれ、
現場や人生を楽しむことに生かされてきた。」

医療・問題解決

複雑な患者の背景や
倫理的課題に対する
直感と洞察

教育・研究

現場でのブレイクスルーや、
後進を導くための
人間的深み

人生の享受

一人の人間として、
人生の豊かさを
味わい尽くす力



多忙な医師の読書戦略

闇雲に読むのではなく、本の「ジャンル」と「必要性」に応じて技術を使い分ける。

精読

深く、じっくりと吸収する

速読

広く、素早く全体像を掴む

この2つの要素を、対象と状況に応じて適切に組み合わせる。

読書戦略の2x2マトリックス（習慣的読書編）

難易度・新規性

得意な分野

【速読パターン】
リズム良く多読し、
ネットワークを広げる。

難解・新鮮・身につけたい

【精読パターン】
時間をかけて潜在意識に
落とし込む。

※習慣的な読書においては、対象の性質によってギアを自動的に切り替える。

緊急・必要時の読書ワークフロー

短時間で多くの本を読まざるを得ない場合（必要性に駆られて行う読書）



全体を速読でスキャンし、
構造を把握する

解決すべき課題に対
する「キーワード」を
探し出す

キーワード周辺の
「大事な部分」に
フォーカスし、
しっかりと精読する

場合によっては、
内容を抜書きし、
すぐに実践できる
ノウハウへと変換する

ギアの自在な切り替え



優れた読書家は、一冊の本の中でも、あるいは直面している状況に応じて、「速読」と「精読」のギアをシームレスに切り替えている。

鳥の目

速読で全体像と文脈を捉える

虫の目

精読で深淵な知識と教養を抽出する

プロフェッショナリズムの無限循環

読書の継続

速読と精読を駆使し、
知識と視点を吸収する

臨床現場の経験

さまざまな人生や難題に接する

経験と読書のフィードバックループが、
見えない根を太くし続ける。

教養の深化

潜在意識に蓄積され、医師
としての教養・人格が磨かれる



“教養は、忘れ去られた知識の底に残る、
医師としての強靱な根である。

本を開き、人生を拡張しよう。